

俺の名はタケシ
かつて魔王を倒した勇者の血を引く男
将来は俺も冒険の旅に出るべく修行中の身だ

おはよう

おはようタケシ

この娘は幼馴染のエイミー
男勝りの性格で腕っぷしも強く
将来は剣士になると息巻いている
俺としては危ないから村で大人しく
していてほしいんだけど……





!

この人は俺のじいちゃん
元勇者で魔王を倒した
俺の自慢のじいちゃんだ

やあ、エイミーちゃん
おはよう
相変わらずいい体しとるね

あつ、エイミーがじいちゃんを殴った……

ド
ゴ
ッ

ビ
ッ

サ
ッ

ふふふ、相変わらず
エイミーちゃんは容赦ないなー

エイミー老人に暴力ふるうなよ
かわいそうだろ

タケシは甘いのよ
いつもお尻ばかり触ってきて……

それはボケてるからだよ
ボケ老人なんだから大目に見てやれよ
クソボケ老人なんだからしょうがないんだよ

タケシわしは
ボケとらんぞ

そうだ、エイミーちゃんに
渡したいものがあるんじやよ

かつて魔王との戦いにおいてはあさんが着ておった
伝説の鎧だ
エイミーちゃんが引き継いでくれるなら本望だろう

そんな大切なもの本当に……

エイミーと爺ちゃんは家の中に入っていた

.....

.....

遅いな
何してるんだらう……
あっ出てきた

ど、どうかな

えっ、ばあちゃんこれ着てたの
本当に

ああ、そうだと
も
由緒正しき伝説の防具じゃよ

破廉恥すぎるだろう

似合ってるよ……

そ、そう
よかった

エイミーっていい体してるんだな

おじいさんありがとう

なになに
エイミーちゃんは孫みたいなものだから
ホホホホ

あれ、エイミーの態度が……
仲良くなったのかな

ハハッ

今日はじいちゃんのコマンドで
エイミーを呼びに来た

おはようエイミー

おはよう
タケシ
どうしたの

おっぱいがあふれ出そうだ
この前の鎧姿を見て以来
どうもエイミーを意識してしまう



なに？じっと私のこと見て

えっ
あ、いや何でもないよ

そう……

あつ、そうだ、じいちゃんが
修行してやるからこいつて
じいちゃん俺にもなかなか稽古つけてくれないんだぜ
羨ましい

……うん、わかった……

いざっしやいエイミーちゃん

くっ
またこのじいは
やっぱり修行なんて

おやおや、この前はあるなに
しおらしかったのに

あつ、あれはちょっと
びっくりして

エイミーじいちゃんの修行受けられるなんて
凄いことなんだぞ

……うん

ほほほ、じゃあ道場に行こうか

あつ、タケシは覗いちやだめだからね
秘密の修行だから



じいちゃんとエイミーは行ってしまった

エイミー羨ましいな
おれも修行してほしいな

.....
ひまだな

ちよっとのぞくか

道場は日の当たらない場所にあつて
正直子供のところは怖かつた

中も日が当たらなくて
薄暗いんだよなあ

タ、タケシ
ど、どうしたの

エイミーちゃんが
小声で話しかけてくる

な、何でもないです

じいちゃんと話してるのかな？

だ、だめ、見つかったら
怒られちゃうよ
それ以上近づいたら
バシちゃう

暇だから
ちよつと覗こうかなって

ぽん
ぽん

んくっ

うーんここからじゃ
あんまり見えないな

一体何の修行してるんだらう

んんん
あれは
ち、乳首
エイミーの乳首見えちゃってるじゃん
ラッキィー



何だか苦しそうだ

んぐ



！
エイミー

ん
あ



ん、

エイミー

ん、

だ、大丈夫だから

はあ

はあ

はあ

はあ

最近はエイミーと二人で修行してる
じいちゃんが教えた技を覚えてくれるので
とてもありがたい

今日は「J」まで「こ」まじょう

うん
ありがとう

はあ

はあ



ふう疲れた

ドサッ

しかし、この格好やっぱり破廉恥だよな
エイミーがさつだから目のやり場に困る
あそこなんて見えそう

気に入らないで
好きでやってるだけだから

最近朝はじいちゃんと修行してるんだろ
悪いなこっちにも付き合わせて

あー

正一

どうしたの

え、あっ、いや

タケシあたしのこと見てる……
私の体に興味あるのかな

くっ

くっ

正一



タケシ凄い見てくるよ……

あ、あれは、具があふれてる……

ん、その落書きはなに

あ、えっとこれは
そのおじいさんに
修行されるたびにその
描かれるの……
消そうとしても消えなくて……

そうなんだ

あんなことしてるって
タケシに知られたら……

あれ、なんか垂れてるな……



さあ、おいで
朝のお散歩だよ

くっ

私は何度もおじいさんに犯されて
もう言いなりました……
こんな恥ずかしい恰好で外に連れ出されても
逆らえません……



おや、勇者のおじいさん
お散歩ですか

ええ

お願い気付かないで……

ム
ム
ム



くっ

エイミーちゃんはわしのペットなんだから
裸でも恥ずかしくないよ

恥ずかしいに決まってるでしょ
もしばれたら……

なにを恥ずかしがってる



だめええ
見られちゃうつうつうつうつ

ああ

おや、新しいペットかい？

たまには早起きしようかなって

なんだ、武器屋のじいさん
朝は弱いんじゃないのか

よお、勇者のじいさん

ド
ド
ド

東の通りに住んでる
エミリーちゃんだね

エミリーちゃん
お返事して

は、はい

うらやましいね、
また新しい娘ペットにするなんて

ふふふふ
なかなか躰も大変だったよ
反抗的で

エミリーちゃん躰けられたの？

見られてる
裸みられちゃってるよおお

はい、おじいさんいっぱい躰けてもらいました……

気が付けばおじいさんの知り合いたちに
囲まれていました

ええなあ勇者のおじいさん

エイミーちゃん
わしも狙ってたのに

おっぱい大きいね

……ありがとうございます
！

羨ましい

まあ、そのうち
少しぐらいなら
ねえ

ふふふふ
エイミーちゃんはわしのもんだから
勝手に触ったらダメだよ

うう、私「れからどうなっちゃうの……

タケシの家

エイミーはどうして家に
それにその恰好……

えっとね、今日からこの家で
住み込みでメイドとして働くことになったの
おじいさんがそうしろって

メイド……

うん、メイドってこういう恰好するんだって……

メイドの存在は知ってたけど、こんな恰好するのか……

タケシ、今日からエイミーちゃんには
わしの身の回りの世話をしてもらおうから
じいちゃんもう年だし

エイミーはそれでいいの？

うんお世話になってるし

エイミーがいいなら別に……

一緒に住んでるからってエイミーちゃんに変なことしちやだめだよ

慣れない家事に
エイミーちゃんは
悪戦苦闘していた

エイミーがお皿を割ってしまった

大丈夫エイミー
ケガしてない

うん、大丈夫
ごめんなさいお皿割っちゃった……

あっ

ガ
キ
ー

いいよ、どうせ安ものだろうし

いけないならエイミーちゃん
それは王様からもらった
大事な皿なんだよ

……

しょうがないだろ
エイミーまだ慣れてないんだし

タケシ
甘やかしちゃいかんよ
仕事はきちんとなさないと

エイミーちゃんお仕置きするから
お尻こっち向けて

……はい

エイミー……

しかしメイド衣装破廉恥すぎるだろ

ゴリッ





あああ、エイミーのお尻がプルンプルンふるえてる……

これはエイミーちゃんのためだからね



は、はい

エイミー……

次からは失敗しないようにね

なんだろう
エイミーがお仕置きされてる姿
すごくエッチだ……

ほろほろ

じゅわ

んあ!

なんだこの声

昼間のエイミーのお仕置き姿が目には焼き付いて
何だか寝付けなかったのでトイレに行った

あ

じいちゃんの部屋だよな「」……
少し覗いてみるか……

あ

あ

あ



おっ

俺は逃げるようにこの場から立ち去った……



エイミー
一体……

居間

さっきのは一体……エイミー
エッチな声だしてたよな……

俺はしばらく考えがまとまらず
居間でぼーっとしていた

あつ、タケシ
起きてたの

うん……
エイミーこそ

……少しおじいさんに修行してもらってたの

そ、そうなんだ

汗かいたから……お風呂
はいるのかなって



!

エイミーちゃんが
裸に……

ねえ、いっしょに
お風呂はいるうか
昔みたいに

……うん

ブルッ



子供の時以来だね
タケシと一緒に風呂入るの

う、うん
そうだね

いつの間にか
一緒にはいらなくなったよね

なんとなく俺が気恥ずかしくなって
一緒にはいるのやめたんだよね……



湯気が少なくなったな……
エイミーの体ほんとに
エッチだな……
こんな娘がすぐそばにいたなんて……

タケシが
私の体見てる……

ねえ、タケシは最近私のことよく見てるけど
私の体に興味あるの？

……うん
「めんねじろじろ見て……」

ううん、いいの
嬉しい





エイミー……

ほふ
ほふ

タケシなら別に
みられてもいいから……

正正
正正

正正
正正

奥まで見せてあげる……

あっ、
触るのはだめだよ

うっ

うおおおおお
エイミーのおまんこ……
こ、これは
誘われているのか……

グイッ

正正
正正

正正
正下

グニッ



しゅ、修行の回数増えたんだね……

う、うん
毎日、修行してるから……

……どんな修行してるの……

正下
正下

正下
正下

えっとね……その……
色々だよ
あんまり詳しく説明しちゃだめって
いわれてるから……

ふ、ふーん

さっき見たのは……
これ以上効く勇気が湧いてこなかった……

正正
正正

正正
正下

あつタケシ君

ミホちゃん

ミホちゃんは幼馴染で
村で見習いの錬金術師をやっている
とっても優しい女の子でエイミーとも仲がいい

どうしたの何か心配事でもあるの？

どうやら浮かない顔をしていたらしい

えっとね……

僕はエイミーのことを話した

きつと、なにかの勘違いだよ
おじいさん立派な人だし大丈夫だよ

そうかな……

うん……

じゃあ、私がエイミーから何をしていたか
聞き出してあげる

エイミーとミホは
本当に仲がいいからな……

タケシはやっぱり
エイミーのこと好きなのかな……

だめだめ友人として
ちゃんと二人を祝福してあげないと……

ん？エイミーの声……
ここがエイミーが使ってる部屋かしら
けど、これ……

んあ

ん

あ

！
エ、エイミー……
それにおじいさん……

まさか本当に……



ど、どうしよう
二人がそんな関係だったなんて

エイミーはタケシのことが好きだったはず
なのに

無理やりされてるのかしら……

あ♡

えら

パ♡

パ♡

あん♡

んが♡

パ♡



エイミーちゃん凄い気持ちよさそう……
これって……

セックスって初めて見たけれど……

こんなの見ちゃったら……

あん。

あ、





んぐ

うう、私ったら……

ミホはむつつりドスケベだった

んぐ

パ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

ミホ
どうだった？

！
タケン君

えっ、あの
ちよつと今いないみたいだから……
またあとで……

そっか

ビ
ン
ン



良かった
行ってみた……

ミホちゃん中に入ってきたさい

ううっ
おじいさんにばれてる……



ミホちゃん……

あの、私もきょうからニジで
住み込みでメイドとして働くことになったの
よろしくね

ミホちゃんまで……
二人もメイドなんて多すぎるし
やっぱりいいちゃんちよっと
おかしいよ……



たけし
おじいさんのこと
悪く言うのよくないわよ

えっ

おじいさんは立派な人なんだから

う、うん……

最近エイミーは
じいちゃんの肩を持つようになった……




やっぱりそういわれても
これはおかしい

なにがおこってるのか
調べないと
取り返しのつかないこと
なる予感がする……

夜

ここが二人の部屋だ
少し覗いてみよう



この格好は……

よく似合ってるよ二人とも

！
じいちゃんもいるのか

じゃあ全部脱いで

幼馴染二人の
裸……
やばい勃起してしまう……

ふたりとも「うちに来なさい

はい……





はい

そんな、二人はもう……

さあ、今日は
おじいちゃん二人同時に
相手しちゃうぞ



おはようタケシ

おはよう
タケシ君

お、おはよう

朝からこんな恰好の
幼馴染にかこまれて
ドキドキしてしまう……



少しミホちゃんの方が大きいのかな……

ふたりともおっぱい大きいな……



どうしたの
おっぱいばかり見て

タケシ君
いやらしい〜

えっ
いや

あつ、けど
おさわりはダメだよ
おじいさんにおこられちゃうから

うっ



いや別に……

どうしたの

そうだった
ふたりはもう……

数日後

ど、どうしたの
今日は一段と……

おいしいさんが
こうしろって

お客様が来るらしくって

そ、そんな恰好で





何をしようとしてるんだ……
これはごっそり見張らないと

「めんね

私たちは準備があるから

大広間

はいっちはいなっつて言われてるはず……

覗いてみよう……

！
ミホちゃん

ミホちゃんが
こんなえつちな娘だったなんてなあ

「めんなさい

あれは確か
武器屋のじいさん

んっ

いっ

んっ



ええ
ええお尻じゃのお

ググッ

ぐっ
あつあつ……

さ、さあつあつ

トッ

んくっ……

ミホちゃんも
エッチな気分になってきたのかな……

ち、違います

んっ

んっ

んっ



おいあんまりいじめてやるなよ

今日はエイミーちゃんが
メインなんだから

他にも数人いるようだ

みんな準備ができたぞ

じいちゃんの声だ
準備？



エイミーちゃん
ケーキだよ

エ、エイミー……





ん♡


ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

今日もエイミーはじいさんに
エッチなことをされていた……



このままじゃだめだ
どうにかしないと……

いったいどうしたら……



どじっこの

ミホちゃん
えっと……その……

あっ
また覗いていたでしょ

バレてる……

だって「こ」
「こん」なに
いきり立ってるから

ミホちゃん！

ホ
ロ
ッ
ッ



今樂にしてあげるね

ミホちゃん
こんなこと……

私は元々こんな
女の子なんだよ

ㄟㄟ ㄟㄟ ㄟㄟ





んっ

ミルク
ミルク
ミルク

……私はもともとこんなんだけど
エイミーはちょっと勘違いしてるだけだから
たけしの気持ちを伝えてあげれば
大丈夫だと思うよ

ミホちゃん……

後は私が片付けておくね……

うん……

その日の夜

おん、んが。

トッ。

トッ。

んが。

あ。

ミホちゃんの声だ……

バレないように
あの穴から覗いてみよう

んあ！！

んああつ……ん
ごめんなさい

んあ！！

ほあ

ほあ

んあ！！

ミホちゃん！

エイミーちゃん
劍の持ち方はね……

はい……

おじいさんに
修行にかこつけて
エッチなことされるのは
もう当たり前の日常に
なっていました……

ガク
ガクッ

エイミーちゃん
体にはいいってるよ
もっとリラックスして

んあつ……ん
は、はい

これも修行だからね

私が抵抗しないってわかってるから
おじいさんは好き放題……

んぐっ

んぐっ

んぐっ

んぐっ

んぐっ





おじいさんにえっちなこと
されてるの知られちゃってる……

あっ
タケシがまた覗きに来てる……

んっ。んっ。

んっっっ

んっ
んっ。

暑いから
ちよつと脱いようか

は、はい……

……今から私
タケシの目の前でされちやうんだ

はあ
はよ。

ぽりゅん





フフフ
今日は一段といい反応だね

ん

ん

グッ

今日はエイミーが
一人で稽古していた

ふうっ
疲れた

二人きりになるのは
久しぶりだな

お疲れ

トキッ



どうしよう
なんか緊張してしまう

以前は二人きりでも
なんともなかったのに……

エイミーの体本当に
エッチだな……

どうしたの？

えっ、あっ、いや





私の体
気になる？

う、うん

別に言ってくれれば
いくらでも見せてあげるのに

おんよ



じいちゃんのエイミーに対する調教は
日に日に激しさを増していった

家にはなぜか地下牢があるのだが
昨日からエイミーはここに閉じ込められていた

おん

エイミーはあの姿勢で
ずっと責められ続けている

んい

んあ、

なにかいいちゃんに
怒られることをしたらしい

んい

んい



じいちゃんは
いないようだ

エイミー大丈夫？

んああっ……ん
タケシ……んんくっ
見ないでえ

んあ
んあ

んあ
んあ



ん。

ごめんね
けど心配だから
いったいなにしたの

んああっ……ん
タケシと……んんんっ……
セックスしたいって言ったのお

エイミー……

んあ。

んああっ……ん
昨日から何度も
イカされて
んくっ……
おかしくなっちゃっよお

んあ。
んあ。
んあ。





エイミー
がんばって

んあああんっ
だめええ
またイいちやうよ

ん

ん

ん

ん

ん

ん



やだあ
タケシに
見られてるのに……

エイミーのためにも
じいちゃんをなんとかしないと

おじいさんってこの世で一番強いんですね

フフフフ
まあね

いままで一番苦戦したのってどんな相手ですか

どうしてそんなこと聞くんだい

いえ、そのなんとなくおじいさんのこといろいろ知りたいなって…

じいちゃんと正面から戦っても勝ち目はない
なにか弱点はないか
ミホちゃんにも協力してもらって探ることにした

フフフフ
ミホちゃんは
わしにゾッコンなんだね

……はい

一番苦戦したのは
やっぱり魔王だね
へんな技使うし
けど最後は股間の
エクスカリバーで
一発昇天させて
封印したったわ

え、魔王って女の人なんですか

女なのかなあ
まあ、穴があったしね



あんまり参考にならなかったな……

じゃあ、舐めて

はい

ミホちゃんが
おちんちん舐めてる……
僕は手でしかしてもらえなかったのに……

タケシが見てる前で私……



さあ、啜えなさい

はい……

ああ、ミホちゃん……

んん
んん



じいちゃんを倒す
ヒントを探して
家じゆう隈なく探索したが
めぼしいものは
なかなか見つからなかった

この一番奥にある
地下牢
使われてないと思うんだけど
何だか心配がする……
ちよつと開けてみよう

カキキキキッ

よく来たな
人間

余は世界を統べる
大魔王

さあ、
封印を
解いて余を
ここから
だすのじゃ



ガタッ

なんかやばいのがいた
見なかったことにしよう

ちょっと締めないで

ねえ行かないで

ごめんなさい
なんでもするから
助けてください

けど、魔王なんですよ

……
違います

嘘です魔王です……
もう悪いことしないから
助けてください

……

じいちゃんが閉じ込めてたのかな
魔力もあんまり感じないし
なんだかかわいそうだけど
どうやって封印解くかもわからないし……

とりあえず
適当にその辺りをいじってるよ……

これ、嫌あ
ちくちくするのぉ

なんだこれ

ツツ
ツツ





んぐ

んあ、

んぐ

んあああんっ
クリがすれて
んんくっ……

んあああんっ
とめてえ

んあ、
んあ、

んん

んぐ

ごめんね
止め方わからなくて

んぐ

んあ、

ギンギン

んぐ
んぐ
んぐ
んぐ



んああっ……ん
いった……いったからあ
とめてよお

うーん
どうすれば

あーん
ん

んご
ん

グッ
ん

ん
ん

ん
ん
ん
ん
ん



ん
あッ

ウーッ

ウーッ

カホッ

またなんか出てきた

ウッ
ウッ
ウッ



んああっ……ん
お乳が
でちゃう

そのあと試行錯誤して
何とか解放した

ん…ん…
ビョビョッ

んあ、
♡

ん♡

ビョルビョル

ビョルビョル-

んあ♡

んが、
んが、
んが、
んが

ん

ん